

事前評価書

年度	4
整理番号	

事業名・路線名等		道路改良事業 一般県道田野庄内線 <small>まごそう</small> 馬子草工区	事業主体	大分県
所在地		玖珠郡九重町大字田野		
事業概要	事業の目的	・線形不良、幅員狭小を解消し、走行性・安全性の向上を図り、九重“夢”大吊橋や長者原等の主要観光地へのアクセス強化を図る。		
	事業内容	【計画延長・幅員】L=420m、W=5.5(7.0)m 【道路区分】第3種第4級 設計速度V=40km/h 【計画交通量】2,523台/日(R22) 【現況幅員】W=5.0～6.0m 【交通量】2,818台/日(H27センサス)		
	事業費	C=230百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から5年(令和9年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 地形測量、道路詳細設計 2年目 用地測量、用地補償 3年目 用地補償 4年目 道路工事 5年目 道路工事 完成		
事業の必要性	必要性・緊急性	・主要観光地へのアクセスルートだが、幅員狭小、線形不良により観光バス等大型車の離合が困難なため、早急な改良が求められる。		
	整備効果	・線形不良、幅員狭小の解消により、走行性・安全性の向上 ・観光道路としての機能向上により、主要観光地へのアクセスを強化(九重“夢”大吊橋、長者原等)		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	幅員狭小、線形不良区間の解消(一次改築)であり、交通安全・観光振興の観点から評価(参考B/C≒0.6)		
	工法の妥当性	・道路構造については、道路構造令を満足するものとなっている。 ・現道拡幅ではあるが、ルート比較を行い最も経済的なルートを選定。		
	コスト縮減	・アスファルト、コンクリート・砕石は再生資材を利用する		
	環境等への配慮	・現道を活用し、土地の改変を最小限に抑制。		
事業実施環境	事業の実効性	・九重町より改良の要望あり。		
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』」において、地域ネットワークの整備として推進が位置づけられている。		
	事業の特殊性	・土地の改変の少ない現道拡幅で、特殊な工法は採用しておらず、また施工条件等に特殊な制約もない。		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい		

事業箇所位置図

